

数理・  
データサイエンス・  
AI教育の紹介

数理・データサイエンス・AI教育プログラム  
「(リテラシーレベル)プラス」「(応用基礎レベル)プラス」  
選定校における教育実践取組みの紹介(その7)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力(リテラシーレベル)や、課題を解決するための実践的な能力(応用基礎レベル)を育成するため、体系的な教育を行う大学等の正規の課程(教育プログラム)を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

大学・短期大学・高等専門学校を対象に公募が行われ、数理・データサイエンス・AI教育プログラム「(リテラシーレベル)」では、令和3年度に78件が認定され、そのうち、特に先導的で独自の工夫・特色を有するとして7件が「(リテラシーレベル)プラス」に選定されています。令和4年度は「(リテラシーレベル)」に139件が認定され、そのうち7件が「(リテラシーレベル)プラス」に、「(応用基礎レベル)」では68件が認定され、そのうち9件が「(応用基礎レベル)プラス」に選定されています。令和5年度は165件が認定され、そのうち7件が「(リテラシーレベル)プラス」に、「(応用基礎レベル)」では83件が認定され、そのうち7件が「(応用基礎レベル)プラス」に選定されています。

本協会では、これまで数理・データサイエンス・AI教育プログラム「(リテラシーレベル)プラス」および「(応用基礎レベル)プラス」に選定された大学の取組みを、「その1」から「その6」として紹介しており、本号では紹介できていなかった3大学の取組みを「その7」として紹介します。

なお、令和6年度に認定された「(リテラシーレベル)プラス」と「(応用基礎レベル)プラス」は、次号以降にて紹介させていただく予定です。

以下に「認定教育プログラム(リテラシーレベル)」、「認定教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」の要件を掲載します。

認定教育プログラム (MDASH\*-Literacy)の認定要件

(「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル) 概要」より転載)  
\*Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education

- ・ 大学、短期大学、高等専門学校の正規の課程
- ・ 学生に広く実施される教育プログラム(全学開講)
- ・ 具体的な計画の策定、公表
- ・ 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術を体系的に修得(モデルカリキュラム参照)
- ・ 学生に対し履修を促す取組の実施
- ・ 自己点検・評価(履修率、学修成果、進路等)の実施、公表
- ・ 当該教育プログラムを実施した実績のあること

プラス選定要件：大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること

認定教育プログラム プラス ((MDASH-Literacy+)の認定手続き等

(「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル) 概要」より転載)

- 認定手続き等
  - ・ 審査は外部有識者(内閣府・文部科学省・経済産業省が協力して選定)により構成される審査委員会において実施
  - ・ 審査の結果を踏まえ、文部科学大臣が認定・選定
  - ・ 取組の横展開を促進するため、3府省が連携して認定・選定された教育プログラムを積極的に広報・普及
- スケジュール
  - 3月：公募開始 5月：申請受付締切 7～8月：認定・選定結果の公表